

進行性多巣性白質脳症(PML)診療, 1年間の進歩 - 疾患修飾療法関連PMLを中心に -

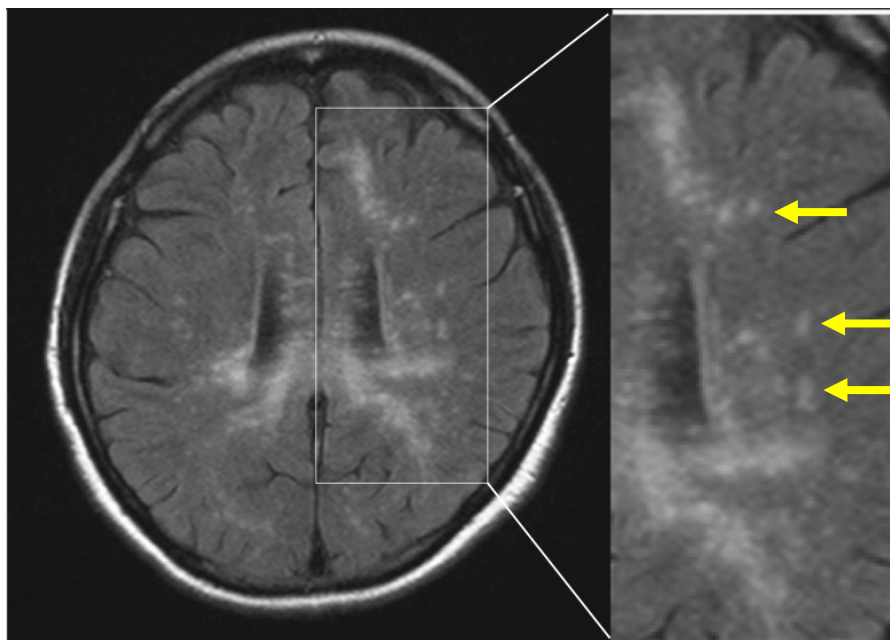
研究分担者：国際医療福祉大学 特任准教授 雪竹基弘

本邦の多発性硬化症(MS)患者における疾患修飾療法関連PMLの発症は

1. ナタリズマブで1名(2016年)
2. フィンゴリモドで4名(2016年2例, 2017年2例)
3. フマル酸での国内発生はないが海外では2018年に1例加わり, 計6例となった.

図. SLEを基礎疾患とするPMLでみられたpunctate lesion.

Ishii J, et al. Intern Med. 2018;57:2727-2734.より改変.



これらの研究は「診療ガイドラインの策定・改訂」に有用である.

解説

1. 国内でも2016年以降, 複数の疾患修飾療法の薬剤でMS患者にPMLが発生している.
2. ナタリズマブ関連PMLやフマル酸関連PMLのMRIで特徴とされるpunctate lesionは, 本年はSLEを基礎疾患としたPMLの画像でも認められることが報告された.